令和６年度　第１回三田市学校給食運営協議会
議事録

日　時：2024 年 9 月 9 日（月）14：00～15：00
場　所：三田市ゆりのき台給食センター
出席者：委　員／竹下会長、山本副会長、小野委員、安田委員、水津委員、武庫委員、藤井委員
　　三田市／小東課長、奥仲統括作業長、西田所長、田所係長、差尾係長
　　日本工営都市空間(株)（NKUrban）／戸知谷、馬淵、新城
欠席者：足立委員
議　題：❑学校給食運営協議会について
　　❑＜協議事項＞
　　(1) 学校給食センターの現状課題と今後の運営について
　　❑＜報告事項＞
　　(1) 学校給食費について
　　(2) 令和 5 年度 給食異物混入状況
　　(3) 令和 6 年度 食育推進の取り組み
　　❑＜その他＞
　　(1) 次回のスケジュール

事務局（差尾）	• ただいまから、三田市学校給食運営協議会を開会する。
事務局（小東）	（挨拶）
事務局（差尾）	（本日の確認事項を説明） • 資料確認 • 委員紹介 • 事務局紹介 • 協議会の成立 • 公開時の委員氏名の公開について
事務局（差尾）	**（学校給食センター運営協議会について説明）**
事務局（差尾）	• 学校給食運営協議会について、意見、質問等があるか。
委員一同	• 特にない。
事務局（差尾）	• 学校給食運営協議会会長及び副会長の選出は、慣例的に輪番制をこれまでとってきているがいかがか。
竹下委員	• 会長に立候補する。
事務局（差尾）	• 会長及び副会長の選出は、規則に基づき委員の互選で決定する。竹下委員を会長に選出してよいか。
委員一同	• はい。（賛成拍手多数）
事務局（差尾）	• それでは、会長にはゆりのき台給食センター給食委員会会長の竹下委員を選出する。

	• 副会長は輪番制で、小野小学校 PTA の山本司委員でよいか。
委員一同	• はい。（賛成多数）
事務局（差尾）	• それでは、副会長には小野小学校 PTA の山本司委員を選出する。 • 会長の竹下委員に一言ご挨拶を頂戴する。
竹下会長	• 通常は輪番制ですが、立候補を認めていただき感謝申し上げる。 • 三田の給食を良くしたいという想いで、昨日、一昨日と４回にわたって「夢みる給食」の上映会を開催し、市や一般住民の方にご参加いただいた。良い給食を負担をかけずに作っていきたいと考えている。会長としての責任を持って、務めさせていただきたいので、よろしくお願いする。
事務局（差尾）	• 以降の議事進行は竹下会長にお願いする。
会長	• 学校給食センターの現状課題と今後の運営について、事務局より説明をお願いする。
事務局（差尾）	**【学校給食センターの現状課題と今後の運営について説明】**
竹下会長	• ２つの給食センターの統合に際し、どちらか一施設を拡充するのか、または新築するのか。
事務局（差尾）	• 新築を検討している。三田市の将来的な喫食数からの施設規模を考慮すると、２施設を保持することは難しいと考える。 • 現在、狭間が丘、清水山給食センター、ゆりのき台給食センターの３カ所を市が所有しており、新たに土地を購入する予定はない。狭間が丘は、周辺の住環境を考慮すると工場の建設は難しく、ゆりのき台給食センターの用地に新築することを検討している。
竹下会長	• 承知した。 • その他、ご質問、ご意見はあるか。
委員一同	• 特になし。
竹下会長	• 事務局より、学校給食費についての説明をお願いする。
事務局（差尾）	**【学校給食費について説明】**
竹下会長	• 事務局からのご説明に対して、ご質問、ご意見はあるか。
委員	• 収支状況の累計におけるマイナス 1 億 5000 万円に対して、どのように対応しているか。
事務局（差尾）	• 収支のうち、市の一般会計で 1 億 5000 万円を負担している。
委員	• 収支としては 0 となっているのか。
事務局（差尾）	• そうである。保護者の皆様からいただいている給食費では賄いきれないため、不足分は市で補っている。
委員	• 徴収率 99.6％ということは、給食費未納者がいるということか。
事務局（差尾）	• そうである。
委員	• 給食費未納者に対しては、どのように対応しているか。
事務局（小東）	• 段階的に、督促状の送付、催告状の送付、電話督促、家庭への訪問を行い、催促している。
委員	• 他市町では、給食費を先に納めて、納付分しか給食を作っていないとこ

	ろもある。催促以外で、給食費未払いに対する対策はあるか。
事務局（小東）	• 三田市では、納付決定後に毎月の給食費をお知らせし、引き落とす流れを取っているため、納付分しか給食を作らないということはない。
委員	• 高い徴収率が維持できている点は良いと思う。 • 本来は給食を食べる側が負担すべきであり、不足分を市の税金から賄っていることに疑問がある。給食費を支払わない方が得をする仕組みになっている。
事務局（小東）	• 今後、市と情報交換する場を予定しており、給食費の徴収の仕方などを含めて給食費の負担について検討する。
竹下会長	• 平成 27 年から赤字が続いている要因は何か。 • 一つには物価上昇に伴う材料費の高騰が考えられる。 • 児童数は減少傾向にあるが、現在は２センターを稼働させているため、運営が非効率であるため赤字が生じているのか。
事務局（小東）	• 赤字の主たる要因は、材料費の価格改定をしていないことである。 • 光熱費は、２センターを合併することで効率的になると考えられる。
竹下会長	• 地産地消推進、減農薬、有機野菜の食材として提供された環境創造米や黒大豆の費用は、一般財源として負担しているのか。提供の頻度と予算はどの程度か。
事務局（差尾）	• 今年度、環境創造米は１週間のうち計４日間提供した（１日はパン）。費用は約 170 万円である。 • 今年度、黒大豆のコロッケは１回提供する。費用は約 100 万円程度である。
竹下会長	• 続いて、令和５年度給食異物混入状況について、事務局より説明をお願いする。
事務局（小東）	**【令和５年度給食異物混入状況について説明】**
竹下会長	• 給食異物混入状況の程度を数年前と比較していかがか。
事務局（小東）	• 平成 29 年度は 36 件、平成 30 年度は 23 件、令和元年度は 20 件、令和 2 年度が 30 件、令和 3 年度が 24 件、令和 4 年度が 17 件である。 • 令和 5 年度が 19 件であり、これまで 20～30 件あるところが 10 件台に抑えられている。
竹下会長	• 児童数は減少しているが、比率は同程度か。 • また、他市と比べた場合、比率は同程度か。
事務局（小東）	• 過年度と比較して、比率は若干減少している。これまでは発生率が 0.1％程度であったが、近年は 0.08～0.09％である。 • 他市は、学期報告などで公には詳細を示していない。三田市は、定例教育委員会、学校長会、議会に学期ごとに数値を報告している。
竹下会長	• 現状では、長年１つの炊飯業者が業務を担っている。異物混入防止のために、給食の複数の業者と競合させるのではなく、１つの業者に指導を徹底する方針で間違いないか。

事務局（小東）	• そうである。兵庫県の学校給食食育支援センターが各学校、市町村単位で大量調理に対応できる炊飯業者と随意契約を結び、三田市に提供いただいている。安定供給、安定需要を第一に、県・市・業者で密に連携を取りながら、異物混入防止に努める。
竹下会長	• 新しい給食センターにおいて、金属片やビニールなどの危険な異物を検知、除去する設備の導入を検討しているか。
事務局（小東）	• 現時点で、そこまでは検討はしていない。今後、調理時、納品時など、各段階でどのようなチェックが可能かを検討する。
竹下会長	• 次に、令和６年度食育推進の取り組みについて、事務局より説明をお願いする。
事務局（田所）	**【令和６年度食育推進の取り組みについて説明】**
竹下会長	• 地産地消は素晴らしい取り組みだと考える。 • 今度、子ども会議で児童らがメニューを作るのか。
事務局（田所）	• すでに子ども会議はこの３回の会議で終了しており、子どもたちが考えたメニューをもとに、調理体験と試食を行った。現在、このメニューを実際にメニューとして提供するために、現場サイドで検討している段階である。
竹下会長	• 黒大豆コロッケは子ども会議の提案ではないのか。
事務局（田所）	• 子ども会議の提案ではない。パスカルが開発した黒大豆コロッケの提供を検討中である。 • 1 月 24 日より子ども会議の様子を展示、情報発信を行う。
竹下会長	• 学校授業の一環として、子ども会議の取組をされているわけではないのか。
事務局（田所）	• 学校の授業としては給食時間で栄養教諭の食指導があるが、今回が子ども会議の初の取組となるため、広く情報発信したいと考えている。
竹下会長	• 本日の協議、報告事項は以上である。 • 地産地消の食材として三田産が 30%程度提供されているが、それらを把握するためのカルテやチェック表に記録しているのか。
事務局（田所）	• 地産地消の食材に関して、統計的な記録をとっている。 • 全使用野菜の品目ベースで記録をとっており、現在、地産地消の食材が占める割合は 20%強である。天候の影響で野菜の収穫ができない場合や、給食として提供できる収穫量を確保できない場合があり、状況によって変動する。
竹下会長	• その他、次回のスケジュールについて、事務局より説明をお願いする。
事務局（差尾）	• 次回の運営協議会は令和７年度の４月下旬～５月の予定である。 • 物資選定委員会は毎月実施する。
竹下会長	• 以上で、すべての議事を終える。
事務局（西田）	（挨拶）

以上